

突発性難聴

原因と症状

- ・突然、内耳に障害が起こり、聞こえが悪くなる病気です。
- ・原因不明の病気ですが、その原因として内耳の血流障害やウイルス感染による可能性が考えられています。
- ・主な症状は、突然聞こえが悪くなる、耳のふさがった感じ(耳閉感)で、耳鳴やめまいを伴うこともあります。
- ・多くの場合は片方の耳に症状が出ます。

診断と治療

- ・診断には聴力検査が必要です。
- ・治療は循環改善薬、ビタミン剤、ステロイドホルモン剤を組み合わせる1週程度内服もしくは点滴による治療が中心ですが、高圧酸素治療を行うこともあります。
- ・糖尿病がある方は血糖値の管理が必要で、耳鼻咽喉科のある病院に入院し、治療する場合があります。

この病気の注意点

- ・この病気は発症後、できるだけ早く治療を始めることが極めて大切です。
- ・できれば1週間以内、遅くとも2週間以内には最寄りの耳鼻咽喉科を受診してください。
- ・早期に治療を始めないと、内耳の細胞が変性を起こし回復が難しくなるといわれています。
- ・早期に治療を開始しても30～40%の方には難聴や耳鳴など後遺症が残るといわれています。
- ・治療開始後1週間程度は激しい運動や過労、ストレスになることは避けて、規則正しい生活を心がけましょう。

急患診療センターを受診するめやす

- ・休日に、急に難聴となった場合は急患センターを受診してください。
- ・ただし急患センターの耳鼻科外来は日曜、祝日、年末年始、GWの昼間（9時～18時）のみです。
- ・それ以外の時に発症した場合は、翌日に最寄りの耳鼻科を受診してください。
- ・激しいめまいを伴い、頭痛や呂律不良、顔面や手足のしびれ・麻痺などの症状を伴うときは救急車を呼んでください。脳の病気が疑われるため早急を受診する必要があります。

新潟市急患診療センター（電話025-246-1199）
<http://www.niigata-er.org>